

政府が公開を拒んだ怪作!! ペルードキュメンタリー史上最大ヒット!

社会の変遷を記憶し、  
抗う映像たちが問い直すものとは  
革命が取り戻す私たちの誇り

1969年にベラスコ大統領率いるいわゆる軍部革命政権によって公布された農地改革法は、それまでのペルーの土地と市民権をめぐる闘争に大きな変革をもたらした。ベラスコ大統領は先住民を半奴隷状態から解放した英雄と見る人と、彼が解体した地主寡頭制に不満を持ち独裁者と見る人とで、ペルー国内を二分する存在である。



今年最高の映画のひとつ!!  
これはあなたの目を開かせる  
映画に違いない。  
cinencuentro.com



# 降り注ぐ、 怒涛の証言

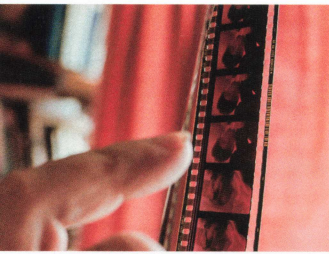
今あるペルーの姿はベラスコ政権がもたらしたもののなか? 映画史、社会史、表象史、写真史、現代史、あらゆる知見を網羅する!



## アーカイブ映像、インタビュー、映画…… 数々の映像から紐解くペルー革命の記憶

ペルー革命前夜として、独立を宣言してもなお続くスペイン植民地時代からの半封建主義的なペルーの社会構造が、丁寧に語られる。ペルーの国民的作家であるマリア・ホセ・アルゲダスや農民リーダーらが当時を振り返り告白する貴重な証言。そして舞台は徐々に運命の1968年へと加速する。ベラスコ大統領率いるいわゆる軍部革命政権によって農地改革法が公布され、ペルーの土地と市民権をめぐる闘争に重大な変化をもたらした。この社会の変化は、日本で初めて公開されたペルー映画の『みどりの壁』や『革命児トック・アマール』、『豚と天国』、『チョコロ』、『アンデス、ふたりぼっち』など数々のペルー映画に反映され封じ込められた。知識人たちは「農地改革は全員が市民になれる手段だった」と証言する一方で、農地改革後にペルーを待っていたのは暴力の時代だったのも確かだ。そして、「民主的であるなら多様性への寛容さが必要だ」と警鐘をならす。現代ペルーの知識人や政治家、文化人へのインタビューによって“ペルー革命”が再構築されていく。革命から約50年、今も政治的混迷が続くペルー。この先、ペルーはどこへ向かうのか? 革命によって、社会/民衆に何をもたらすのかを突き付けるドキュメンタリー。

現代ペルー史のマスターピース



『チリの闘い』に続く、  
ラテンアメリカ革命の鼓動

革命する  
大地 LA REVOLUCIÓN  
Y LA TIERRA

監督:ゴンサロ・ペナベンテ・セコ 脚本:グレシア・バルビエリ、ゴンサロ・ペナベンテ・セコ 撮影:エラウド・ロブレス  
編集:チノ・ピント、ゴンサロ・ペナベンテ・セコ 出演:フェデリコ・ガルシア(映画監督)、フランシスコ・モラレス(元ペルー大統領)ほか  
ペルー/2019年/スペイン語・英語/111分/原題:LA REVOLUCIÓN Y LA TIERRA © 2019 Autocinema  
後援:在日ペルー大使館 日本ペルー協会 日本語字幕:比嘉世津子 配給:フエナワカ 宣伝:スリーピン

www.buenawayka.info/re-tierra @kaku\_daichi

新宿K's cinema

新宿駅東南口階段下 甲州街道沿道コモンショップ左入ル  
03(3352)2471 www.ks-cinema.com  
各回入替・全席指定席



4.27 [sat] road show

全国共通特別鑑賞券1,400円(税込)  
発売中

# 革命する大地

英雄が、  
それとも  
悪党か

1968年、軍部革命政府が樹立され、  
ペルー革命が推し進められた。  
半世紀後に生きる私たちは  
革命に審判を下すことができるのか。

2016 DAFO

長編ドキュメンタリー

プロジェクト部門グランプリ

2019

ペルー映画記者協会

最優秀ドキュメンタリー賞

2019 リセ映画祭

最優秀ペルー映画賞

& 審査員特別賞

監督: ヨンザロ・ベナベンテ・セコ 脚本: グリンシア・バルビエリ、ヨンザロ・ベナベンテ・セコ

撮影: エラルド・ロドリゲス 編集: チア・ヒント、ヨンザロ・ベナベンテ・セコ

出演: フェデリコ・カルシア (映画監督) フランシスコ・モラレス、ベルムナズ(元ペルー大統領)ほか

後援: 在日ペルー大使館 日本ペルー協会 配給: エナウイカ

ペルー/2019年/スペイン語/柔音/111分

原題: LA REVOLUCIÓN Y LA TIERRA © 2019 Autocinema

数々のペルー映画に刻まれた革命の痕跡  
若者たちが熱狂! ペルー、ドキュメンタリー史上最高の観客動員数を記録!!



AUTOCINEMA

